

令和元年度 和白青松園事業報告書

1. 入所実績

○ 定員	60名
○ 延定員	21960名
○ 入所日数	366日
○ 延入所児数	16724名
○ 平均入所児数	45.7名
○ 入所率	76.2%

(1) 入所状況

(単位は%：名)

月区分	4月初	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	6	6	6	5	4	4	6	6	6	6	6	6	6
中学校	10	11	11	11	11	12	13	14	14	15	15	15	15
高校生	23	23	24	24	25	26	26	27	26	26	26	26	20
その他	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	1
合計	41	42	43	42	42	44	47	49	49	50	50	49	42
入所率	68.3	70.0	71.6	70.0	70.0	73.3	78.3	81.6	81.6	83.3	83.3	81.6	70.0
入所 合計名 12名	0	1	1	0	1	2	3	2	0	1	0	0	1
退所 合計名 11名	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	8
一時保護委託 利用者人数 合計 76名		6	3	4	10	8	6	5	8	7	7	7	5
ショートステイ 利用者人数 合計 95名		7	7	8	5	11	11	9	7	6	9	2	13

(2) 入退所理由

(単位：名)

入所理由 区分	虐待	就労	疾病	拘禁	養護	その他	計
年度初現在数	10	2	12	2	12	3	41
入所数	0	0	4	0	8	0	12
退 所 数	措置変更	0	1	0	0	1	2
	家庭引取	0	0	1	0	0	1
	就職・進学	1	1	1	0	1	4
	その他	1	0	2	0	1	4
	計	2	2	4	0	3	11
年度末現在数	8	0	12	2	17	3	42

2. 児童の支援について

(1) 基本方針・基本理念

①基本理念

児童一人ひとりの立場に立って人権を擁護、尊重し最善の福祉サービスを提供することを目指します。

②基本方針

人権尊重を養護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し明るく健やかに日常生活を送れるよう温かい環境作りに努力する。

* (家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)

(2) 目標の反省

◇私たちはかけがえのない存在です。お互い思いやりを持って優しい気持ちで接して行きましょう。

＝小学生、中学生同士の細かな喧嘩は減少傾向にあるが、高校年代の児童の性格的な不一致によるトラブルが目立った。なかなか歩み寄ることができず、長期化するケースが見られた。

◇一人ひとりが目標を持ち、あきらめず一生懸命に努力しやり遂げましょう。

＝中学生高校生共に、部活や通塾など目的を持って生活できる児童は自分の生活ペースを確立し、落ち着いた生活を送っている。反面、不登校の中学生、高校生のアルバイトや部活動もできない児童が目的なく生活しており、自立支援に繋がらない状況が続いている。

◇まわりの人に素直に「ありがとう」が言える感謝の気持ちを持ちましょう。

＝日常生活の中では自然な形で感謝の言葉が出るケースは増えている様に感じるが、来園者や外出先など、初めての場面では緊張からか、言葉に出ない児童も見られた。

◇みんなで話し合った事や決まりをきちんと守り、責任感を持ちましょう。

=個々の生活が確立するにしたがって、自己中心的な権利主張も目立つようになり、施設のルール自体を遵守するつもりがない児童が増えた。高校生の行動範囲が広がっていることもあり、より自覚のある行動が求められる。

(3) 具体的内容

- ① 小学生 ○生活支援…基本的な生活習慣が身につくよう、早寝早起き、帰宅後の宿題、学校へのスムーズな登校ができるよう支援を行った。行き渋りが見られる児童については原因の確認と登校方法の模索など、学校や児童相談所と協議を重ね対応した。
- 学習支援…日々の宿題等の基本的な支援に加え、ボランティアによる英会話教室など児童が進んで参加できるような支援を実施した。
- ② 中学校 ○生活支援…不登校傾向の児童は比較的に安定した生活を送っている。学校の不登校対応に乗って、ステップルームへの登校や先生への顔見せなどを行う児童も見られた。部活動等に取り組む児童については、日常生活が負担にならないよう、バックアップ体制の充実を図った。
- 学習支援…受験生は、それぞれの目標に合わせ学習する様子が見られた。希望する児童は通塾や学習ボランティアの指導等に参加し、各々のペースで学習に取り組むことが出来た。
- ③ 高校生 ○生活支援…安定した生活を送る児童がいる一方で、夜間帯の抜け出し・飲酒喫煙などの非行行為を行う児童が数名おり、繰り返し指導するも改善が見られない。児童相談所に一時保護等の協力を依頼するも対応困難な状況であるため、根本的な支援が進まない。
- 学習支援…単純な学力不足による単位の未取得や進級不可に至る児童はいなかったが、行き渋りや不登校の児童については、学校と連携し対応した。
- 進路…高校卒業生 6名(就職3名・進学1名・その他2名)
- 就職… ・株式会社串匠 ・サンアクアTOTO株式会社
 ・株式会社リフト
- 進学… ・平岡調理／製菓専門学校
- その他… ・自立援助ホーム2名
- ④ その他 ○生活支援…様々な事情により、高校以外の環境で生活する児童も在籍しており、各児童の生活に合わせた支援を実施した。

3. 職員について
 (1) 人員について

(単位：名)

職種 区分	園長	事務員	家庭支援専門 相談員	個別対応職員	里親専門相談員	保育士	心理士	看護師	栄養士	調理員等	合計
						児童 指導員					
定数	1	1	2	1	1	24	1	0	1	4	36
4月1日在籍数 含同日採用	1	(1) 1	2	1	1	(2)	(3) 1	0	1	(2) 4	(8) 40
						28					
異 動	年間退職者数 含3月31日 付退職	0	0	0	0	(0)	(1) 0	0	0	0	(1) 7
						7					
年間採用者数 除4月1日 付採用	0	0	0	0	0	(1)	0	0	0	0	(1) 0
						0					
3月31日在籍数 除同日退職	1	(1) 1	2	1	1	(3)	(2) 1	0	1	(2) 4	(8) 33
						21					

※・・・()内は非常勤職員

(2) 充足等について
 職員定数(4:1)は36名であるが、実人数は40名でスタートした。
 非常勤心理士2名を採用。

(3) 研 修 等 に つ い て

職員のケアワーカーとしての資質向上のため、県内外の研修会やその他諸々の研修会に積極的に参加し、入所児童の処遇向上を図った。

4. 16	保健衛生研修	1名	9. 10~13	指導者研修	1名
5. 16	県社協新任研修	2名	10. 1	ファミリーシップ会議	1名
5. 29	県社協新任研修	2名	10. 16	人権同和研修	1名
6. 4	市乳養協新任研修	8名	10. 16	給食従事者研修会	1名
6. 4	基礎研修	2名	10. 23~24	県養協一泊研修会	4名
6. 7	調理員研修	1名	10. 29~30	他都市視察研修	1名
6. 6	基礎研修	4名	10. 29~31	小舎制養育研修会	3名
6. 11	基礎研修	2名	11. 14	市乳養協研修会	6名
6. 11~13	九州ブロック研修	5名	11. 25~26	業務改善研修	2名
6. 12~13	安全衛生推進者養成講習会	1名	11. 27~29	施設長研究協議会	1名
6. 13	基礎研修	4名	11. 28	法人研修会	7名
6. 19	県養協研修会	4名	12. 17~18	こどもの権利擁護を考える研修	2名
7. 16	人権／同和研修	1名	12. 18~19	社会的養護を担う児童福祉施設長研修	1名
7. 19	県養護給食部会	1名	12. 21~22	日本こども虐待防止学会	2名
7. 24	大都市研修	1名	12. 24	調理員研修	1名
7. 28~29	九州地区里親研修大会	1名	1. 11~13	SBI研修	1名
8. 20	虐待フォーラム	2名	1. 22~23	九州里親支援専門相談員研修	2名
8. 23	市乳養協施設見学	2名	1. 27	県養協心理職部会	1名
8. 27~28	キャリアパス研修	1名	1. 30~31	FSW研修	1名
8. 29	就労支援研修	2名	2. 14	市乳養協研修会	6名
9. 3~4	中堅職員研修	2名			
9. 4	県養協心理職部会	2名			
9. 18~20	西日本セミナー	4名			

4. 施 設 整 備 に つ い て

- 固定資産物品 …… 業務用パソコン（4台）購入
公用車（日本財団セレナ）廃車処理
- 工事／修繕 …… 西門倉庫解体

5. 主な出来事

4. 7	和白青松園 桜まつり	10. 6	校区体育祭
4. 21	中学校区球技大会	10. 24	中学校合唱コンクール
4/27～5/5	ゴルフネットワーク外泊	10. 26	キッズプロジェクト BBQ
5. 5	極味や招待	11. 6～7	福祉施設第三者評価
5. 14	法人監査	11. 9	中学校バザー
5. 26	小学校運動会	11. 10	和白青松園秋祭り
6. 2	中学校体育祭	11. 15	支援調整会議
6. 9	育成会球技大会	11. 23	ゼンマイ労働組合 BBQ
6. 20	権利擁護委員会	11. 25～26	業務改善研修
7. 16	和白青松園後援会	11. 28	法人研修
7. 22	夜間避難訓練	12. 12	福岡市行政指導監査
8. 3	まつり三苦	12. 24	クリスマス会
夏休み期間	ホーム外出	1. 1	年賀の会
9. 1	博多食文化の会食事招待	2. 2	第27回つばさ定期演奏会
9. 29	小学校バザー	2. 4/11	法人研修
9. 30	小学校 運動会		

6. 苦情解決処理委員会について

・小学校友人保護者より

○小学校の友人保護者より、以前からちょっかいを掛けられトラブルになるケースが続いており、これ以上続けば手を出してしまいそうだとかどもさんから相談があったとのこと。姉のことについても悪口を言われているとのことで、小学校にて先生方立ち合いの元、話し合いを行った。互いに距離を置いて生活し、悪口やちょっかいを今後無くすことを打ち合わせ、ご理解頂いている。

・中学校友人保護者より

○当施設入所中の中学生が、友人にぶつかられた際に故意と勘違いし暴力を振るい怪我を負わせている。歯を強打してはいたものの、レントゲンの結果以上は見られなかった。保護者さんからは、場合によっては大きな怪我に繋がっていたことを重々言われ、同じようなことが再度あれば、許すわけにはいかないとの事であった。管理職含め謝罪を行い、再発の防止に努める旨をお伝えしている。

7. 権利擁護委員会

- 引き続き性的虐待を含む不適切な対応についての改善報告をもとに協議を行った。
職員研修の実施と外部研修への参加を推進。スーパーバイザーを導入し、毎月のケース検討会を実施するとともに、現状の報告や今後の課題について検討した。

8. その他について

① 安全管理

- 防災訓練…消防署の指導による防災訓練を実施、また年2回の通報訓練を行った。
(避難、消火、通報訓練・地震避難訓練)
 - 健康管理…例年通り児童や職員の定期検診・全職員の腸内検査を実施。また、全児童・全職員にインフルエンザの予防接種を実施し、病気の予防や体調管理に努めた。感染性の高い病気もホームでの生活により、感染の拡大が最小限に止まる効果も見られた。
 - 衛生管理…各ホームでの手洗い・うがいの奨励を行なうと共に、施設内での感染性の高さを意識付け、食中毒予防など衛生意識向上に努めた。食事の配膳の際のエプロン・三角布の着用の徹底。
保健所指導のもと調理室の衛生管理を実施した。
また、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、うがいや手洗いの徹底、及び外出や外泊の自粛などを実施した。
- ### ② 地域交流
- …三苦校区夏まつり（たこ焼き店出店・備品貸し出し）への参加、桜まつり・秋まつりを開催し地域の皆さんとの交流の場とした。
町内育成会行事への児童・職員の参加を実施し、施設外での活動の支援を実施した。
- ### ③ 各種事業
- …地域小規模児童養護施設「あすなろホーム」「結実ホーム」、小規模グループケアホーム「松籟ホーム」、家族療法事業ホーム「いまここホーム」等の各種事業を実施。
また、一時保護専用ホームクローバー（定員6名）開設し、一時保護委託やショートステイの受入れに活用した。
- ### ④ 後保護
- …お盆・正月を含め施設のイベント等には参加を呼び掛けた。
出張時など、連絡が取れる卒業生とは現地にて交流を持った。
- ### ⑤ 実習生、ボランティアの受け入れ
- 実習生（大学、短大、その他）
 - ・ 受け入れ校…20校、実習日数10日～24日、実習実人員57名
 - ボランティアの受け入れについて
 - ・ ボランティアの受け入れについてはマニュアルを作成し、職員に徹底し意思の統一を図った。
 - ボランティア（招待）（敬称略）
 - ・ 野球観戦…福岡第一ライオンズクラブ

- ・ 食事…博多食文化の会／焼肉極味や／／和白病院／藤堂氏
アサヒビールキッズプロジェクト

○ ボランティア（訪問）（敬称略）

- ・ 理容奉仕（move、約 60 名）
- ・ 余暇活動（養問研、博多食文化の会、アサヒビールキッズプロジェクト他 約 70 名）
- ・ 労働奉仕（フィリップモリス）
- ・ 学習指導（九大学生／大濠ライオンズクラブ）

○ 寄付物について（敬称略）

- | | | | |
|---------------------|--------------------------------------|--------|---------------|
| ・ 一般社団法人未来への礎（館内灯） | ・ オールツーリングジャパン（パソコン） | | |
| ・ 不二精機株式会社（玩具／雑貨） | ・ 株式会社 FoomanLABO（食材） | | |
| ・ 株式会社博多不動産（商品券） | ・ 三菱 UFJ エルガンスタンレー PB 証券(株)（DVD リフト） | | |
| ・ 藤堂和子（食材） | ・ (株)アクティネットワーク社（自転車） | | |
| ・ (株)環境開発（菓子、図書カード） | ・ (株)菅原（ケーキ） | | |
| ・ 玉屋（お菓子） | ・ 他 46 件 | | |
| ・ 青木瀬令奈（ゴルフウェア） | | 全 58 件 | 計 2,500,000 円 |

○ 寄付金収入（敬称略）

- | | | | |
|---------------------|-----------|----------------|---------------|
| ・ (株)ミロク企画（3 件） | 711,500 円 | ・ (株)キャリーオン | 100,000 円 |
| ・ 福岡第一ライオンズクラブ（2 件） | 500,000 円 | ・ 生命保険協会保険協会 | 100,000 円 |
| ・ (株)エスネットワーク酒井氏 | 300,000 円 | ・ (株)西日本洗管サービス | 100,000 円 |
| ・ 井上敏恵氏 | 200,000 円 | ・ 丸松セム(株) | 100,000 円 |
| ・ (株)南商会 | 200,000 円 | | |
| ・ ゼンマイ労働組合 | 200,000 円 | | |
| ・ 学校法人福岡保健学院 | 199,000 円 | | |
| ・ 秋祭り有志一同 | 175,000 円 | ・ 他 10 件 | 289,611 円 |
| ・ 曾根泰子氏 | 120,000 円 | | |
| | | 全 26 件 | 計 3,295,111 円 |